

分野別資金配分方針の変更について（案）

令和 5 年 2 月 〇 日
グリーンイノベーションプロジェクト部会

グリーンイノベーション基金の分野別資金配分方針について、令和 4 年度第 2 次補正予算で措置された財源を踏まえて予算総額を拡充するとともに、当該財源に基づき新たに組成を進める想定プロジェクトを追加する。また、プロジェクト 1 件について、審議を行う分野別ワーキンググループを変更するとともに、当該ワーキンググループの分野名も変更する。

新	旧
令和 2 年度第 3 次補正予算で措置され、 <u>令和 4 年度第 2 次補正予算で拡充された「グリーンイノベーション基金」</u> について、	令和 2 年度第 3 次補正予算で措置された「グリーンイノベーション基金」について、
予算総額 2 兆 3000 億円の	予算総額 2 兆円の
<u>グリーン電力の普及促進等分野（WG 1）</u> ⑪廃棄物・資源循環分野におけるカーボンニュートラル実現	エネルギー構造転換分野（WG 2） ⑪廃棄物・資源循環分野におけるカーボンニュートラル実現
⑱バイオものづくり技術による <u>CO₂ を直接原料としたカーボンリサイクルの推進</u>	⑱バイオものづくり技術によるカーボンリサイクル推進
⑳製造分野における熱プロセスの脱炭素化	[新設]

※「③大規模水素サプライチェーンの構築」プロジェクトに対して、加速を図る取組として「大型ガスタービンによる水素発電技術（高混焼）の実証」を追加するが、プロジェクトの趣旨や位置づけ等を変更するものではないため、分野別資金配分方針において名称の変更は行わない。

(参考) 変更後の分野別資金配分方針

令和2年度第3次補正予算で措置され、令和4年度第2次補正予算で拡充された「グリーンイノベーション基金」について、各分野において次のプロジェクトに対して予算を配分する。

今後、分野別ワーキンググループ（以下「WG」という。）の審議を経て、担当省庁のプロジェクト担当課室が、各プロジェクトの内容（予算額を含む）を研究開発・社会実装計画として策定する。

想定されていないプロジェクトの組成や実施中のプロジェクトの加速に加え、スタートアップの参画を促す取組等に対応するため、現時点の予算総額2兆3000億円のうち少なくとも1000億円程度を留保枠として確保する。今後、プロジェクト組成の状況を確認した上で、留保枠の見直しや想定プロジェクトの追加等を行う場合には、本配分方針を変更する。

分野名	想定プロジェクト名
グリーン電力の普及促進等分野 (WG1)	①洋上風力発電の低コスト化 ②次世代型太陽電池の開発 ⑪廃棄物・資源循環分野におけるカーボンニュートラル実現
エネルギー構造転換分野 (WG2)	③大規模水素サプライチェーンの構築 ④再エネ等由来の電力を活用した水電解による水素製造 ⑤製鉄プロセスにおける水素活用 ⑥燃料アンモニアサプライチェーンの構築 ⑦CO ₂ 等を用いたプラスチック原料製造技術開発 ⑧CO ₂ 等を用いた燃料製造技術開発 ⑨CO ₂ を用いたコンクリート等製造技術開発 ⑩CO ₂ の分離・回収等技術開発
産業構造転換分野 (WG3)	⑫次世代蓄電池・次世代モータの開発 ⑬電動車等省エネ化のための車載コンピューティング・シミュレーション技術の開発 ⑭スマートモビリティ社会の構築 ⑮次世代デジタルインフラの構築 ⑯次世代航空機の開発 ⑰次世代船舶の開発 ⑱食料・農林水産業のCO ₂ 削減・吸収技術の開発 ⑲バイオものづくり技術によるCO ₂ を直接原料としたカーボンリサイクルの推進 ⑳製造分野における熱プロセスの脱炭素化